



- 1 NOZOMI PAPER Factory.
宮城県本吉郡南三陸町歌津伊重前325-2
- 2 にこまーる
宮城県登米市中田町上沼西坂場32-1
- 3 あっふるじゃんぶ石巻
宮城県石巻市駅前北通り1丁目5-6
- 4 ペンギンズアート工房
宮城県石巻市羽黒町2丁目11-2
- 5 ギャラリー「くらら」
宮城県石巻市中央3丁目65-1
- 6 にしびりかの美術館
宮城県黒川郡大和町吉岡下47
- 7 ポラリス「こう・ふく」アトリエ
宮城県亙理郡山元町高瀬字合観原30-2
- 8 CAFE & SHOP たむたむ亭
宮城県仙台市青葉区中山2丁目18-5
- 9 宮城県美術館
宮城県仙台市青葉区川内元支倉34-1
- 10 せんだいメディアテーク
宮城県仙台市青葉区春日町2-1
- 11 NPO法人とっておきの音楽祭
宮城県仙台市青葉区昭和町3-55
沼コーポラス北仙台1階 105-C
- 12 アート・インクルージョン
宮城県仙台市青葉区一番町3丁目8-14
スズキパティビル3階
- 13 アートスペースぱく
宮城県仙台市青葉区東照宮1丁目13-37
- 14 Wonder Art Studio
宮城県仙台市若林区荒町172
- 15 せんだい演劇工房10-BOX
宮城県仙台市若林区卸町2丁目12-9

<ご注意>
各施設・アートスペースを見学する際は、開館時間やイベント内容をウェブサイトでご確認いただくか、直接、運営団体にお問い合わせください（公共施設をのぞく）。

イラスト：本多遼（表紙）／黒川美鈴（裏表紙、中面）

スープとは	SOUP（スープ）は、障害者芸術活動支援センター@宮城の愛称です。宮城県内における芸術文化活動を志す障害のある人への支援体制の裾野を更に広げ、優れた才能の更なる成長・発展を促すことで、県内の障害者芸術文化活動の振興を図ることを目的として、特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン（東京/宮城）がこの活動を推進しています。「じょうほうスープ」の名前は、障害者芸術活動支援センター@宮城の愛称であるSOUP（スープ）から名づけました。
お問い合わせ先	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局 〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目3-22 第五菊水ビル3階（東北リサーチとアートセンター内） TEL: 070-5328-4208 FAX: 022-774-1576 E-MAIL: soup@ableart.org http://soup.ableart.org

企画・編集・発行 特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン（発行 2020年1月10日）
この冊子は、「平成31年度宮城県障害者芸術文化活動支援業務」及び「2019年度仙台市文化プログラム」（仙台市・公益財団法人仙台市民文化事業団との共催）の一環で制作・発行しています。○仙台市内の情報の一部は、「学刊まろりょく」vol.37（発行 公益財団法人仙台市民文化事業団）から転載しています。

「じょうほうスープ」

8つのイラストは何を描いているでしょうか？ 答えは中面のどこかにあります！



アートで
こころと
からだを
ときほぐそう。

特集1

Art to You!
第5回東北障がい者芸術全国公募展
2019年10月17日～20日
公益社団法人東北障がい者芸術支援機構

「障がいのある人のアートに対する理解がなかなか広まらない・深まらない現状」に対して、「東北地方の障がいのある人の社会参加や企業との連携、自己表現・自己実現のサポートをすとも、社会の側からも、障がいのある人たちがそのアートに対する理解の促進を図りたい」（第1回開催概要より）という思いで2015年に始まった公募展。今年は、東北から呼びかける全国公募展として、その企画、運営を東北6県の福祉施設のスタッフなどで構成する公募展実行委員会が行っています。作品募集の対象を東北から全国に広げたことで、40都道府県から過去最多の850点もの応募があった第5回公募展。審査を経て選ばれた入選作品136点が展示された会場は、連日多くの来場者でにぎわいました。

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区園分町1丁目7-18
TEL: 022-266-8533 [FAX] 022-224-3429 [E-MAIL] info@art2you.org
[WEB] https://www.art2you.org



全国公募展と実行委員企画「ニッポンの表現欲求～行為としての作品～」展の展示風景（主催者提供）

特集2

アート・インクルージョン2019
2019年10月1日～31日
一般社団法人アート・インクルージョン

福祉にアートを持ち込みたいと考えていた白木福次郎氏〔(株)白木屋代表取締役/NPO法人スペシャルオリンピックス日本・宮城理事長（いずれも当時）〕と、美術をより開かれたものにしたいと考えていた村上タカシ氏（宮城教育大学）が出会い、2010年に始まったアートプロジェクト。個人商店や公共施設、復興住宅自治会など、長町エリアの人々と協働しながら、地域の魅力の発掘と、互いを学び合い、支え合うことを目的に毎年さまざまな企画を実施してきました。会場は長町商店街を中心としたエリア。わからないことを面白がってくれる懐の深さと、人情味溢れる旦那文化の残るこの地域ならではの、温かな人と人とのつながりが生まれています。

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3丁目8-14 スズキパティビル3階
TEL: 022-797-3672 [FAX] 022-797-3673 [E-MAIL] office@art-in.org
[WEB] https://art-in.org



長町の歴史をモチーフにしたオリジナルミュージカル「橋姫ミュージカル」を披露（主催者提供）

特集3

宮城県美術館の創作室

宮城県美術館は、県立の美術館として、常設展（コレクション展示）、企画展のほか、美術に関する教育普及活動などを行っています。なかでも、県民のための創作の場「創作室」は、「絵が下手」「不器用だから」より「好きだから」という思いを大切にしたいと、どなたでも作品制作のために利用することができます。材料は持参し、場所と道具を使うことができる場所です。週末には、表現の幅を広げるさまざまなワークショップも行っていきます。常駐のスタッフが、制作に関するアドバイスはもちろん、個展やグループ展を開きたいがどうすればよいか、といった美術に関する疑問や困りごとの相談にも応じます。まずは気軽に見学してみるのも○。ぜひ活用してみたいかがでしょうか。

〒980-0861 宮城県仙台市青葉区川内元支倉34-1
TEL: 022-221-2114（創作室） [FAX] 022-221-2115（代表）
[WEB] https://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa



上：宮城県美術館の外観。野外にも彫刻や庭園があります。下：障害のある人の芸術活動を支援することを目的に、創作室で額装の基本を学ぶ参加者。作品展示のために応用可能な視点を学んでいます

特集4 予告

障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市「きいて、みて、して、見本市。」

2020年2月2日(日)～5日(水)
10:00～18:00 ※2日は14:00オープン、5日は16:00まで
会場：せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア 入場無料

障害のある人が、芸術文化の表現活動を行う場や機会を探している、活動の相談先を探しているなど、次の一歩を踏み出すためのヒントを見つける場として、「障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市」を2020年2月に開催いたします。障害のある人と芸術文化活動が、日常の中に溶け込むことを目指して、多様な活動を行う県内の団体が集まります。その他、関連イベントとして、人形劇のワークショップや作品展示など行いますのでぜひご覧ください。

特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局
TEL: 070-5328-4208 [FAX] 022-774-1576 [E-MAIL] soup@ableart.org
[WEB] http://soup.ableart.org
平成31年度宮城県障害者芸術文化活動支援業務、2019年度仙台市文化プログラム



活動を紹介するヤタイ形式のブースや、宮城県内の作家による作品が多数出展されます。ぜひご来場ください